

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 1日

事業所名:悠YOUこどもデイ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		療養通所の利用者と利用人数を調整してスペース確保を行っている	
	2 職員配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		できる限り同一の席として本人にわかりやすいようにしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々洗濯や消毒を実施し、清潔な環境を整えている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	○	話し合うべきことは全職員に周知、働きかけを実施している	各々の業務バランスにより全ての職員の参画はできていない
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者への事業所評価を実施し意向の把握に努めている	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		会報の発行はないが法人ホームページでの自己評価公表は実施している	改善内容についての公表が今後の課題である
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在第三者評価は受けていない、今後の検討事項である
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		新型コロナの影響で研修を受ける機会は減少しているが、研修案内は周知されているオンラインで受けられるものは受けている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		こどもサポートプランや保護者からの聞き取り・児の様子からニーズの抽出し支援計画に反映させている	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		必要な項目を網羅し、表記は具体的であるように努めている	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		その日体調にあわせてできることを選択している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか		○	利用者総数が少ないために、集団・個別と明確に分けられていない	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○	朝のミーティング時に当日の活動について確認を行う	体調などの周知はあるが具体的な支援、役割分担まではできないことも多い
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		毎回の振り返りには至れず課題であるが、変化があった時は振り返り、気付きの共有は行う
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用記録に当日の実施内容と体調や活動でのエピソードを記載し、保護者へコピーの提供を源としている。何時でも見る事ができるためお互いに支援の検証に繋がっている	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月ごとの計画見直しは実施している	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか		○	新型コロナの影響のため、一同に会するサービス担当者会議の実施はできていない 各担当者で電話や書面での情報共有・意見交換を実施している	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		利用者が他に通う保育園へ訪問させていただき情報交換を行った	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		必要に応じて往診医や訪問看護師らと情報共有し健康状態に不安なく利用ができるようにしている	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		移行支援の対象者がいないため未実施
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		移行支援の対象者がいないため未実施
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修の実施はないが、利用児の様子を共有を書面を通して行った	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		他の園との交流の機会がなくできていない
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に記録用紙だけのやり取りではなく、その日にあったことを口頭でも報告し親の捉えの確認や共通理解ができるように努めている	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		家族支援の知識・技術の充実のために研修などの機会を活用したい

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に丁寧に説明を実施している	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画の説明は丁寧に実施し、ニーズに対し不足ないことを確認し同意を得ている	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会などの設置はなく、今後の課題である
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談があった場合には内容に応じて適切に、できる限り迅速に対応している	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報の発行はない、行事予定などについての情報発信については課題である
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報保護については利用契約時に書面で説明を行っている職員個々においてもその取り扱いについて慎重に行っている	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用中の様子は具体的に保護者に伝えるように配慮している	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		新型コロナの影響もあり機会はなかった、今後も課題である
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		職員間でマニュアルの周知は実施している	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震や火災を想定した避難訓練を実施している	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		定期的に服薬状況について確認している	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在対象児がいらないが体制づくりは課題である
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		インシデント・アクシデントの集積を行い共有している	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員の研修の機会をつくっている	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		主に送迎時の安全確保のためのシートベルトなどの使用が必要になった場合事前に十分説明したうえで書面を取り交わし運用している	